

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

※国際交流推進事業から分割

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	0404	姉妹都市等交流推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

国際交流人口の拡大

《事業開始の背景》

花巻市内の青少年と海外青少年の相互交流を通じて、異文化の相互理解を深め、国際感覚の醸成を図ることを目的に、合併後も引き続き展開している事業である。

《事業概要》

- 公益財団法人花巻国際交流協会に姉妹都市等交流研修補助金を交付 青少年海外派遣研修事業や海外青少年受入交流事業等を実施
- ホットスプリングス市との姉妹都市提携20周年記念事業の実施

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

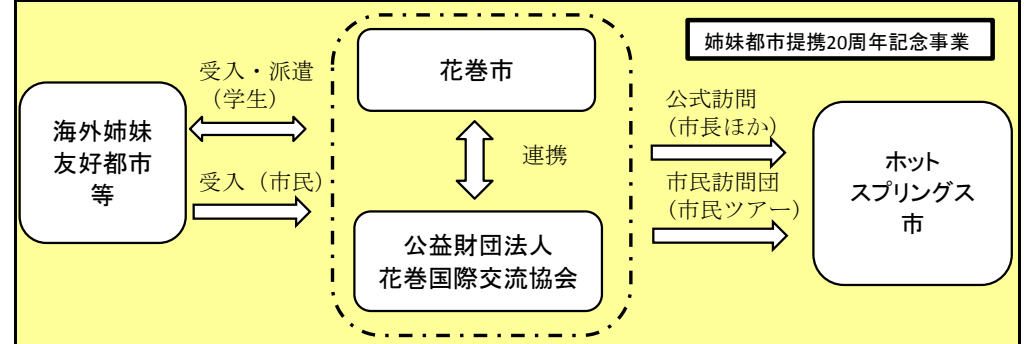
《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 派遣人数	人	目標	50	50	
		実績	35	78	
② 受入人数	人	目標	50	50	
		実績	58	46	
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当者	(内線)
人づくり	生涯学習部	生涯学習交流課国際交流室	佐々木奈津枝	410

		25年度決算			
事業費		13,271			
財源内訳	国庫支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	13,271			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること



1 公益財団法人花巻国際交流協会が行う姉妹都市等交流研修事業 (9,546千円)

- (1) 姉妹・友好都市等との相互交流に関する経費
 - ・青少年海外派遣研修事業 (6件)
 - ・海外青少年受入交流事業 (5件)
 - ・市民等受入事業 (2件)

2 ホットスプリングス市姉妹都市提携20周年記念事業 (3,725千円)

- ホットスプリングス市との姉妹都市提携20周年記念して公式訪問を行った。
- (1) 時期：平成25年10月17日から10月23日 (5泊7日日程)
- (2) 公式訪問団：市長、議長、花巻・ホットスプリングス交流委員会会長、宮沢家1名、総合政策部長、教育委員会3名 随員：秘書政策課1名、国際交流室3名
- (3) 内容：記念式典、市内視察、市民交流プログラムへの参加した。所蔵鹿踊り衣装を更新した。
- ※このうち「所蔵鹿踊り衣装更新 (300千円)」については、上記「1 公益財団法人花巻国際交流協会が行う姉妹都市等交流研修事業」に計上している事業費と合わせて、姉妹都市等交流研修事業として、公益財団法人花巻国際交流協会に交付した。

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

※国際交流推進事業から分割

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	0404	姉妹都市等交流推進事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	豊かな心を育む生涯学習の推進
	4		4-5	
目的	国際交流人口の拡大			
対象	花巻市民			
意図	国際姉妹友好都市等（交流都市クリントン及びジェットランドを含む）との相互交流事業を通じて、異文化を学ぶとともに、市民の国際感覚の醸成を図る。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○公益財団法人花巻国際交流協会に姉妹都市等交流研修補助金を交付
 青少年海外派遣研修事業や海外青少年受入交流事業等を実施
 ○ホットスプリングス市との姉妹都市提携20周年記念事業の実施

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 交流都市	箇所	計画	6	6
		実績	6	6
② 派遣受入人数	人	計画	100	100
		実績	93	124
③		計画		
		実績		
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 派遣人数	人	目標	50	50
		実績	35	78
② 受入人数	人	目標	50	50
		実績	58	46
③		目標		
		実績		

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

平成25年度は、ホットスプリングス市との姉妹都市提携20周年記念事業を実施した。ホットスプリングス市への公式訪問団及び市民ツアーの派遣を行ったことによる派遣人数の増加が大きな要因である。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
 国際姉妹友好都市として提携している都市が4つあるにもかかわらず、これら国際姉妹友好都市との交流に興味がある方が40.3%（H25まちづくり市民アンケート）と前年（44.3%）を下回っている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	国際姉妹都市・友好都市等6ヶ所に中学生等を派遣し、また国際姉妹都市・友好都市等4ヶ所からの青少年等を受け入れ交流を行っており妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	国際姉妹友好都市等との国際交流に興味のある市民の割合が50%に満たない状況であるので、より多くの市民に交流事業に参加していただくよう働きかけていく。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	旅行経費の積算方法を見直ししながら、見積り合せ等で費用の圧縮を図る。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	・派遣生徒の決定にあたっては、市内全中学2年生を対象に公募を通じて行っており、受益機会は適正である。 ・派遣生徒に対しての国際交流協会からの補助率は3分の2で、生徒の保護者も負担をしており費用負担は適正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

・国際姉妹都市・友好都市等への青少年派遣や受け入れを行い、交流を進めることができた。受け入れの際には、関係団体等にも交流事業に参加していただくように働きかけ、関心のある市民を増やしていく。また、それぞれの地域に根差した地元主導の国際交流事業を支援していくことが重要である。

・ホットスプリングス市との姉妹都市提携20周年を記念して公式訪問を行い、記念式典、市内視察、市民交流プログラムへ参加し、その様子は市広報やマスコミなどにより広く市民にも周知を図った。